

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号
 TEL FAX 0162-22-0118
 ホームページ
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>



あけましておめでとうございます。稚内海上保安部は、今年も、関係機関と連携協力し、密漁や密航等の海上犯罪の厳正な取締り、原油流出事故等の防災体制の強化、海難防止体制の確立に万全を期し、「地域と共に歩む海保」をスローガンに、海の安全と安心の確保に全力を尽くしてまいります。

稚内海上保安部長 堀田 省吾



巡視船れぶん解役・配属替



稚内港北ふ頭では新旧のれぶんが肩を並べていた
PL111(左)は旧れぶん、PL117(右)は新れぶん

平成20年12月12日、稚内海上保安部所属1,000トン型巡視船れぶん(PL111)が解役となり、稚内港において解役式等が行なわれました。解役式では、第一管区海上保安本部長からのメッセージ披露に続き、船体への献酒、乗組員による海上保安庁旗の返還や船名抹消等のセレモニーが実施されました。「れぶん」は、昭和54年11月に建造されてから29年間、稚内海上保安部の所属船として主に警備救難業務に従事し、海難217件に出動、44隻395名を救助しました。総航走距離は約39万海里(約72万km、地球約18周分)に及びます。

また、解役と同じ日、浜田海上保安部(鳥根県)所属1,000トン型巡視船「いわみ(PL117)」が、先代と同じ「れぶん」の船名を引き継ぎ稚内海上保安部へ配属替となりました。式典の中で、稚内海上保安部長から乗組員に対し「これからも国民の期待に応えられるよう励んで下さい。」と式辞がありました。

= 巡視船れぶん(PL111)の主な活躍 =

昭和58年9月 大韓航空機KE007便撃墜事件

昭和60年4月 漁船第七十一日東丸海難事件

平成7年6月 サハリン地震災害への緊急支援物資輸送



年末年始特別警戒及び安全総点検

稚内海上保安部では、年末年始における船舶交通の安全確保、海上防犯の強化、テロ防止等に万全を期すため、年末年始特別警戒及び安全点検を実施しています。12月10日、北海道運輸局旭川支局及びハートランドフェリー株式会社と合同で、同社の「ボレアース宗谷」において、法定書類、救命設備、消火設備等の点検及び安全運航の指導を行なったほか、稚内海上保安部職員により稚内灯台の機器、電源等の予備システムの作動状況を点検しました。また、年末年始の多客期には当部職員がカーフェリーに乗り込み、テロや犯罪防止等の警戒を行なっています。



海水情報センター業務開始

12月19日、第一管区海上保安本部において「海水情報センター」が開所しました。同センターは流水等による海難の防止等を目的に毎年この時期に開所し、インターネットやファックスにて海水速報等を提供しています。また、インターネットでは、海水画像や海水統計等といった海水に関する



アドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>
 ファックス 0134-32-9301(ポーリング受信)